



平成30年11月9日

各位

会社名 株式会社 駅探  
代表者名 代表取締役社長 中村 太郎  
(コード: 3646 東証マザーズ)  
問合せ先 管理担当執行役員 柳 象二郎  
(TEL. 03-6367-5951)

## 第2四半期業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

2018年5月15日に公表しました2019年3月期第2四半期累計期間の業績予想につきまして、本日発表の実績値との間に差異が生じたのでお知らせします。

記

### 1. 第2四半期連結業績予想値と決算値との差異について

2019年3月期第2四半期(累計)(2018年4月1日～2018年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,400	140	138	90	16.61
実績(B)	1,489	261	261	171	31.51
増減額(B-A)	89	121	123	81	—
増減率(%)	6.4	86.8	89.4	90.5	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	1,364	286	286	176	32.79

※ 2018年3月期第3四半期より連結決算に移行しているため、2018年3月期第2四半期実績は単体決算数値と行っております。

### 2. 差異の理由

第2四半期累計期間の業績につきまして、コンシューマ向け事業において、乗換案内サービス等の月額課金ビジネスやトラベル事業の旅行販売を中心として当初予想していた売上を上回る結果となりました。また、法人向け事業においても、既存取引先に対する受注金額の増加や新規顧客等からのスポット案件の獲得と好調に推移しており当初の予想を上回る売上となりました。利益面に関しましては、旅行販売の売上増加に伴う商材仕入量の増加はあるものの、業務効率化や効果的な販促活動により営業費用を抑制出来ていること、新規事業開拓のための体制強化に伴う人件費及び採用費の一部の発生が下期にシフトしたことにより、営業利益・経常利益・四半期純利益ともに業績予想値を上回る結果となりました。

なお通期の業績予想については、前述した体制強化に伴う費用の発生を下期に予定しているため、現段階においては2018年5月15日に公表した予想数値を修正いたしません。修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします

以上

※ 業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。